

2000年5月

関係各位

公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 事務局

JHF 学科検定会の実施方法について

このたび、JHF 教員に学科検定試験を実施していただくことになりました。学科検定会が公正に実施されるために実施方法を説明します。これは、JHF が教員に権限を委譲して行っていただく活動です。もしも、公正に実施されていない事実が判明した場合は、教員技能証を取り消す場合がありますので、充分ご注意ください。

1. 開催できる学科検定会の種類

開催する教員が取得している技能証の学科検定会を開催できます。例えば、PG タンデム技能証を取得している教員が PG タンデム学科検定会を開催できます。

2. 学科検定会スケジュールの確定

日程が決まったら、できるだけ広くスケジュールを広報してください。検定を希望している講習生が検定会を逃してしまうことのないようご注意ください。また、JHF 事務局にスケジュールをお知らせいただければ、JHF ホームページに掲載することができます。連絡はファックスか電子メールでお願いします。

3. 学科検定会試験問題

JHF 事務局へ注文してください。開催する技能証学科検定会問題用紙を郵送します。一部ずつしか送り返しませんので、教員は必要枚数をコピーして使ってください。JHF から受け取った問題用紙をオリジナルとして手元に保管し、次に同じ種類の技能証学科検定会を開催するときにも使ってください。

使い終わった問題用紙は、速やかに破棄してください。

4. 検定料

徴収してかまいませんが、常識の範囲内に留め、あまり高額にならないようご注意ください。JHF への申請料は必要ありません。

5. 学科検定会の実施

必ず公正に実施されるよう注意してください。どの教員によって開催されても、受験者への対応は同じでなければなりません。

制限時間、最低合格点は厳守してください。

試験前に受験生に試験内容を知らせることをしないでください。

実施要領ははっきりと説明してください（開始時間、終了時間、最低合格点など）。試験開始前に質問が出た場合は、受験生全員に説明が聞こえるようにしてください。

試験問題によって、備品が必要な場合があります。事前に告知し当日持参するよう知らせておいてください。受験生が忘れた場合に備え、教員が筆記用具を含めた備品を予備に持っていることが望ましいです。

無理な姿勢をとらずに回答を記入しやすい高さの机と椅子を用意し、受験生同士が近づきすぎず互いの回答が目に入ってしまうよう距離を置く配置にしてください。

6. 採点

学科検定会終了後、速やかに採点を行ってください。間違いの多かった問題や重要と思われる問題について、採点終了後、改めて解説することが望ましいです。

7. 学科検定会合格証の発行

JHFにて用意する教習カードに設けられた合格証の欄を使ってください。教習カードの完成は7月半ばの予定ですので、ご注文方法は改めてご連絡いたします。それまでの暫定制度としてJHFが用意する合格証をお使い下さい。ご注文いただければ無料でお送りします。スクールによってオリジナルの教習カードを既に使用している場合は、学科合格証の欄を加えて使用していただいてもかまいません。必要な項目は、教員のフライヤー会員番号、教員名、教員捺印、合格日です。有効期限が合格日の2年後の同じ月の月末までであることも合格証欄に明記してください。学科検定会合格証を発行した教員と技能証を申請する教員が違う場合がありますので、他の教員が見ても判断できるよう明瞭に記入してください。

合格証を再発行できるのは合格証を発行した教員だけです。問い合わせに依られるよう、合格証を発行した受験生の氏名、合格日等は控え置き、問い合わせに速やかに依られるようご用意願います。

8. 報告書

学科検定会と合格証の発行が終了したら、速やかに報告書をJHF事務局へ送ってください。JHFにて学科検定会の実施状況を把握するためです。教員からの要望もフィードバックできるような形態にしていますので、沢山のご意見をお待ちしています。

9. 注意

次のような場合、教員技能証を取り消す場合がありますのでご注意ください。

公正な学科検定会を開催しなかった場合
虚偽の報告を行った場合 など

問い合わせ先： JHF事務局 電話： 03-5834-2889

FAX：03-5834-2089

電子メール： info@jhf.hangpara.or.jp

以上